

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	京都大学
拠点のプログラム名称	東アジア世界の人文情報学研究教育拠点
中核となる専攻等名	人文科学研究所
拠点リーダー氏名	高田時雄
<p>《拠点形成の概要》</p> <p>中国や日本をはじめとする東アジア諸国は長期にわたり漢字を媒体として、豊かな文化を育んできたが、それを体現する東アジア人文学は21世紀の情報化社会において極めて大きなチャレンジを受けている。新しい情報化された世界において十全に伝統を保持し、世界文化の一翼を担い新たな発展を目指すためには、東アジア人文学を情報学的基盤によって再編成することが不可欠である。そのため京都大学における東洋学研究の長い歴史と輝かしい伝統を基礎としながら、最新の技術を駆使して漢字文化の情報化を推進するとともに、漢字を根幹とする東アジア言語文化の徹底した整理を試み、そのトータルな継承発展を目標とする学際領域としての東アジア人文情報学の拠点を形成する。本拠点では、まず漢字をはじめとする諸種の文字を扱うための人文学的・情報学的研究をおこなうと同時に、文書やテキストの载体・形式も知識体系の重要な要素であるという点に留意し、それらに関する知識と技術の教育をおこなう。次いで漢字文献研究の重層化・高度化に欠かせない漢字文献ナレッジベースを構築する。これは漢字文献研究に関する伝統的な知識と最先端のデジタル化技術の融合の中で、21世紀における新しい東アジア学のあり方、漢字文化の記述の方法を追求する試みであるとともに、その発展は漢字文化の中で生活する人々の諸活動にとって大きな波及効果をもつはずである。さらにこの分野を担う人文情報学的人材を長期にわたって確保していくため、外国機関との提携を基礎に、海外拠点や国際セミナーの開催を通じて、若手研究者の育成を図り、東アジア規模での人文情報学的ネットワークを形成する。</p>	